
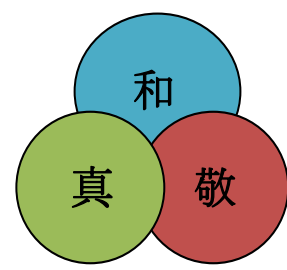



志高通信





和
真
敬

校訓



南三陸モアイ化計画 進行中

南三陸モアイ化計画とは・・・

南三陸町のモアイ像を防災のシンボルとするとともに、地域活性化を進めるため、全国に南三陸町の良いところを発信するという計画。情報ビジネス科の「課題研究」の授業等で行っています。平成22年度から実施しており、東日本大震災を契機に、新たに町民バスを贈呈するという目標も加わり活動を行い、全国から注目を浴びています。

歴史的背景・・・

1960年(昭和35年)、南三陸町はチリ地震津波で大きな被害を受けました。その後、復興を遂げた両国の友好のしるしとして、1990年(平成2年)に「友好のメッセージ」が在日チリ共和国大使から送られました。こうして、南三陸町とチリ共和国の交流がはじまりました。1991年(平成3年)に「復興」「友好」「防災」のシンボルとして南三陸町にモアイ像が設置されました。東日本大震災を経て、チリ共和国大統領が南三陸町へ訪問し、新たなモアイ像も贈呈されました。

福興市への出店 (商業部と共同)

4,5,7,8,11 (2回), 12月【計7回】

南三陸福興市で、商業部と協力して、モアイ焼き等の販売を行いました。南三陸モアイ化計画のアピールをしました。販売の大変さや喜びを知ることができました。



モアイグッズ作成

カレンダー・缶バッジ
南三陸思い出かるた 等

缶バッジをはじめ、モアイグッズは全国から発注があります。カレンダーは関係各所に配布させて頂きました。

古里 かるたで思い出共有

南三陸思い出カルタを町内小学校や慈恵園へ配布しました。南三陸町の名所、名品を再確認できる内容になっています。



これで町民バスを



寄付総額が650万円に

震災後、モアイ化グッズの収益金は、南三陸町に寄付しています。今年度は200万円を寄付することができました。全国からの支援に心から感謝します。

収益金の寄付

6月

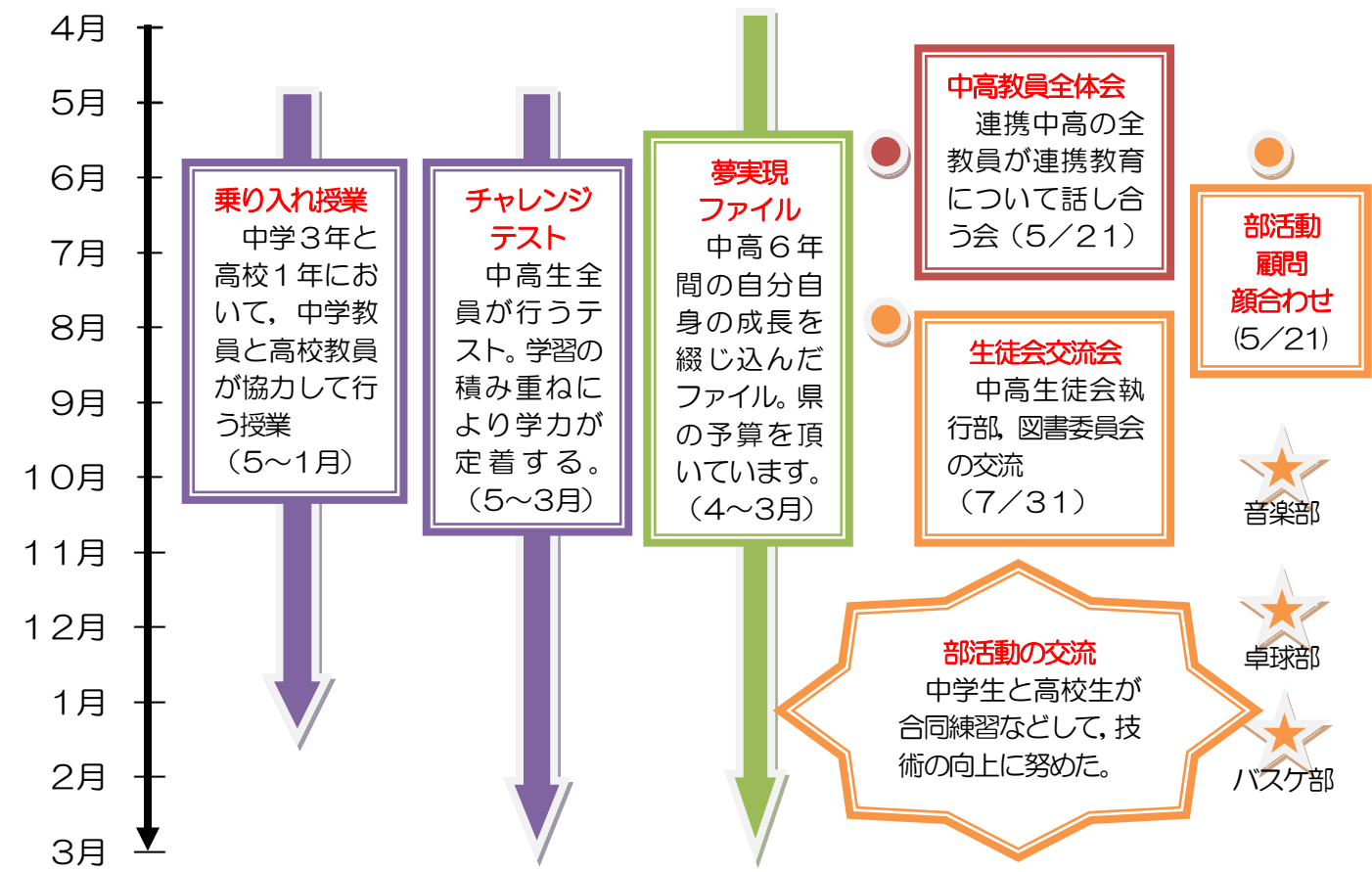
カルタ大会

町内小学校(12月)
慈恵園(1月)



連携型中高一貫教育事業のまとめ

本地域は、平成15年度から連携型中高一貫教育事業を行っています。この事業の教育目的は、「基礎学力の定着」「一人一人の個性の伸長」「異年齢集団の中での社会性の育成」の3つです。この教育目標を実現すべく、中学校と高校が協力して南三陸町内の全ての生徒を育てていきます。宮城県や南三陸町の教育委員会に加えて、地域住民の皆様を支えられて連携事業が成り立っています。今年度行った主な連携事業を紹介します。ご覧下さい。



乗り入れ授業の様子。基礎学力の定着を目標に、中学校と高校が連携して行っている事業の1つです。



夢実現ファイル。生徒一人一人の夢実現を支援する目的で行っています。中高6年間の自分が詰まっています。



中高の部活動交流の目的は、技術の向上はもちろん、異年齢集団による社会性の育成をすることです。

主な行事予定

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 3月 1日(火) 卒業式 | 11日(金) みやぎ鎮魂の日 |
| 9日(水) 後期選抜 | 16日(水) 後期選抜合格発表【登校禁止】 |
| 【9(水)、10(木) 登校禁止】 | 24日(木) 修業式、大掃除 |
| | 28日(月) 離任式 |